



● 文芸雑誌『断層』と俳誌『若鮎』



● 俳誌『土上』

皆野の俳句

戦前編

2021年10月4日（月）－29日（金）

役場内庁舎ロビー



● 俳誌『馬酔木』と『初鴨』

ミニ
企画展

皆野の俳句 戦前編

大正からはじまった皆野の俳句の歴史を見る。

令和3年2月4日、金子伊昔紅氏の住宅兼医院であった旧壺春堂醫院主屋・土蔵が国の登録有形文化財に登録されたことをきっかけに収蔵資料の整理が開始され、俳句や日記、色紙などが次々と見つかりました。

本企画展では、上海時代に伊昔紅が『断層』に掲載した「驢馬の鈴」にはじまり、昭和7年の俳誌「若鮎」創刊を経て、昭和16年の京大俳句事件までの約15年間に
ついて、町内外の俳人や団体との交流に焦点をあてて紹介します。



●「驢馬の鈴」(『断層』所収)
(一 皆野俳句の黎明)



●俳誌『耕人』・『絡車』
(二 若鮎跳梁)



●秋櫻子の長瀨来訪(『初鴨』所収)
(三 君と漕ぐ)

皆野町教育委員会

社会教育担当

デジタルミュージアム編さん室

TEL : 0494-62-4563

※企画展の内容はデジタルミュージアムにも掲載します。
<https://www.town.minano.saitama.jp/haikunomachi/>

